



看護学科

會田 みゆき 准教授

【研究分野】 生活習慣病予防、糖尿病看護、看護教育方法
 【キーワード】 セルフケア教育・健康教育、臨床判断能力育成教育
 【URL】 <https://www.spu.ac.jp/academics/db/tabid334.html?pdid=115ai>



健康と生活習慣・予防・臨床判断力

研究概要

生活習慣病予防、生活習慣病の中でも増加が著しい糖尿病の一次・二次予防のためのセルフケア行動支援について研究しています。特に、食生活、身体活動における生活習慣の改善および継続を支援するための教育的介入のあり方について研究しています。

また、看護実践につながる臨床判断能力育成のための教育プログラムの開発に取り組んでいます。実践につながる学びを追究しています。

研究紹介

- 生活習慣改善のための健康教育に関する研究
 - 「勤労男性に対する身体活動促進を目指した行動化への支援」
 - 「糖尿病予防のための肥満者における運動の習慣化」に関する研究
 - 教育プログラムの作成および行動化・行動変容の評価
 - 「大学生の健康度および生活習慣」に関する研究
- 臨床判断能力を高める教育の研究
 - 「視線分析を用いた多重課題における臨床推論力を高める教育プログラムの開発」
 - 臨床で遭遇する多重課題場面での学習者の情報獲得と思考過程の特徴の明確化（視線分析を活用）⇒シミュレーション教育プログラムの開発
- 家族参加型アドバンス・ケア・プランニング（ACP）に関する研究
 - 地域資源を活用した住民による 家族参加型のACP研修会の企画、実施、評価

講座テーマ紹介

- 生活習慣病予防に関連した講座
 - 「生活習慣と健康－健康づくりのための食事・身体活動」
 - 「認知機能と生活習慣病」
 - 「夏バテ予防－栄養と健康」など
- 多職種連携に関連した講座
 - 「多職種連携基礎研修」
- 家族参加型アドバンス・ケア・プランニング研修

アピールポイントなど

市民向けの講座は、高校生から高齢者まで、年代を問わず実施しております（高校の保健講座、未来大学、地域コミュニティでの講座など）。一般の方の生活習慣病予防意識を高め、健康づくりの支援をしたいと考えています。